

グリーンハート

No. 18 10月号 発行日 平成19年10月20日



現代の神通力～パネルセッションで金賞～ “緑と水の間をとりもつ かつばのSA～RAグループ活動” (活動報告) 《投稿記事》

《緑のコーディネーター角銅久美子さからの投稿です。》

岐阜で行われた第6回園芸福祉全国大会のパネル展示において、全国の活動グループが多数参加したなか投票の結果、私たちかつばのSA～RAが金賞に輝きました。パネルの内容は

- ・イギリス生まれの雨水タンク活用でまちを緑いっぱいにしよう。
- ・環境福祉基地 あメリットステーションを各所に広げよう！
- ・子ども達と高齢者の間をとりもつ、環境カップのSA～RA塗り絵／紙芝居の活用で環境教育を！



栄えある金賞の授賞式

をまとめたものです。環境カップのSA～RA塗り絵・紙芝居は（6組1,000円）会場で即売され好評でした。神通力にはもう2つおまけがありました。

長良川・岐阜城をバックにした『長良川国際会議場』は建築家安藤忠雄さんの設計によるもので自然をうまく取り入れた素晴らしい建物でした。このメインホール大会会場の名が《さらさ～ら》sala sala さら＝新しい さ～ら＝スペイン語で広い空間 “新しいものがうまれる場” 私たちはかつばの皿水神 長良川の流れ さらさら 奇遇にびっくり。

もう一つのおまけ 金賞を頂いた時、ステージで災害と緑化支援、癒し効果についてコメントした事で発展、10月13日・14日地域交流センターの「安全安心ワークショップ」に招かれることになりました。

カップの水かきで、幸せあつまるものですよ！！！！

(園芸福祉ふくおかネット 角銅久美子)

(事務局より)

おめでとうございます。素晴らしいですね。皆さんの行動力とエネルギーのたまものだと思います。



カップのサ～らを紹介したパネル

目次

- ・カップのSA～RA 1
- ・「オレンジ」花の会 2
花壇指導
- ・コーディネーター紹介
- ・「こども生花教室」 3
- ・多自然川づくり国際ワークショップ 出席者見学
- ・コーディネーター制度 テレビ紹介 4
- ・グリップキャンペーン
- ・観月会
- ・コーディネーター再認定
- ・メールアドレス登録

記事投稿のしかた

本誌に記事を書きたい方は事務局にご連絡の上、記事内容を書面（メール可）で提出してください。記事の量によっては、重要箇所のみ掲載となります。活動参加者募集等を行う場合は、必ず連絡先、連絡方法を明記してください。11月号（11月20日前後発行）への投稿〆切日は11月10日です。それ以降の投稿は12月号への掲載になります。みんなが気持ちよく新聞を利用できるようにルールを守りましょう。

(発行元/事務局)

福岡市都市整備局
公園緑地部緑化推進課
TEL 7 1 1 - 4 4 2 4
FAX 7 3 3 - 5 5 9 0
(財)福岡市森と緑のまちづくり協会 森と緑課
メールアドレス：
aniju.t@mori-midori.com
TEL 8 2 2 - 5 8 3 2
FAX 8 2 2 - 5 8 4 8

「オレンジ花の会」花壇づくりの指導をしました。

(活動報告) 《投稿記事》

《緑のコーディネーター砥上久美子さんからの投稿です。》

緑のコーディネーターとして、9月8日(土)オレンジ花の会のご依頼で、研修会をしました。オレンジ花の会は「やる気応援事業」で花壇づくりをしています。今後どのような花壇づくりをしていけばいいか? 相談したいとのご依頼でした。

始めに花壇を見せていただき、その後場所を移動して研修会で花壇づくりについて話をさせていただき、いろいろなご相談を受けました。

オレンジ花の会の皆さんに、少しでもお役に立つことができ、緑のコーディネーターとしてうれしい1日でした。
(砥上久美子)

(事務局より)

早良区野芥にある「オレンジ花の会」は3つの花壇を管理されています。当日は15名の参加者があり、砥上さんのお話を熱心に聞かれて、花壇への思い入れが感じられました。集会所での研修会ではいろいろな質問ができましたが、砥上さんには事前に資料を作成していただいて、具体的に答えていただきました。



花壇を見ながら質問に答える砥上さん



集会所での研修会

コーディネーターさんご紹介!

今回は井本耕太郎さんです。

野菜作りを始めて4年。キッカケは身土不二(しんどふじ)にのっとり・・・「地元で」「季節のものを」「直接手に入れる」ことが一番、安心・安全な食材であると思ったからです。

当初はなるべく産地に近い所で取れたてのものを購入するよう心がけていましたが・・・活動の場は、やまびこの郷体験農園【佐賀市三瀬村】、具座(ぐざ)農園【佐賀市三瀬村】、ベジタブル農園難波(なんば)【城南区自宅の側・難波池の空き地・勝手に名付け】の3ヶ所です。百姓の真似事も少しは様になってきたような気がします。農薬、化学肥料を使わない有機農法に取り組んでいます。土作りと虫、雑草との戦いでもあります。季節ごとに作付けできるものはなんでもと心がけております。一年を通して野菜はほとんど自給できるようになってきました。収穫出来る時に我が家の食卓では、賄いきれない時が多々あり、近所へお裾分け! 味、匂いよし、新鮮、元気野菜と好評です。

佐賀市三瀬村は福岡市と隣接しており、標高400~450mに位置し、空気・水のもっともおいしい所です。週に1~2回は行っており、農園(2ヶ所)や他の場所で農家の方々との交流も楽しみであり、勉強になることが多くあります。農園での行事、三瀬のイベントにはできるだけ参加。たまには農家民宿をすることもあります。

最近、三瀬に訪れる方が大変多くなってきており

ます。(福岡の方が一番多いと思われます)散策もいいですがもう一歩中に飛び込んで! きっといい事に多く出会うと思います。

福岡市の職員の方々へのお願い。福岡市と隣り合う佐賀市(三瀬村)との交流を深める機会を多く作ってはいかがでしょうか・・・(都市のエネルギーを村に、村の命を都市の暮らしへ)。

話は変わりますが、野菜作りの他に今年から庭木の剪定(週1回のペース)のボランティア(?)に行っております。樹木もそれぞれ個性があって良いものです。

野菜作り、剪定と自分勝手な事ばかりに時間を費やし、肝腎の緑のコーディネーターの方はさっぱりでゴメンナサイ!

◆所属する団体

- ・園芸福祉ふくおかネット
- ・スローフード、ジャパン

◆趣味(勉強中?)

- ・マクロビオティック
- ・塩のこと
- ・太陰太陽暦(旧暦)

◆やまびこの郷体験農園の詳細は別紙資料をご覧ください。



愛宕浜小学校「こども生花教室」

(活動報告) 《投稿記事》

《緑のコーディネーター小寺福代さんからの投稿です。》

私はいけばな“池坊”にたずさわり、緑：草木（そうもく）の大切さを考えている者の一人です。“いけばな”は神仏にお花をお供えする「供花」（くげ）から発生しています。今の自分につながるご先祖様に、茶花をたむける事によって、感謝の気持ちを表します。

私は平成16年8月開講の「緑のコーディネーター育成講座」受講後平成17年度に認定を受けました。コーディネーター登録後、すぐに愛宕浜公民館より講師の依頼が来て、日時・内容等サークルの要望と合いましたのでお受けしました。男性1名を含めた会員8名で、お稽古をしております。11月



作品の手直しをする小寺さん

11日（日）愛宕浜小学校体育館で三度目の文化祭展示を致します。

それから今年6月には愛宕浜小学校5年生のクラブ活動に“いけばな”をと依頼がまわりました。

現在10名の女の子達が、可愛い手つきで上手にお花をいけています。西新プラリバで下記のとおり発表会を致します。感性豊かな子供達の作品を見に来てください。

日時：11月11日（日）から14日（水）

10:00~20:00（14日は16:00まで）

場所：西新エルモールプラリバ7F 催事場

内容：“お花大好き”な子供達が色々工夫をこらしてお花を飾ります。11日（日）12:00~活け込みも見られます

（小寺福代）

（事務局より）

子供達に“いけばな教室”を選んだ理由を聞いてみました。「お花が好きだから」「お花をもらうとワクワクして嬉しいから」という声が返ってきました。日本の伝統文化である“いけばな”に子どもの頃からふれあうのは、とても良い事ですね。



真剣に活け込みをする子供達

多自然川づくり国際ワークショップ出席者の見学 《投稿記事》

《緑のコーディネーター角銅久美子さんからの投稿です。》

10月3日11時より〈九州大学西新交流プラザ〉において、オランダ・スイス・韓国・日本の近自然河川、多自然川づくりの現状報告会があり、世界の先生方が報告会に先立ち「樋井川のアメリットステーション」を見学されました。お天気続きで雨が少なく暑く、花も緑もへとへとしている状態のなか、雨水の効果ありで、緑だけはかろうじてみられたようで、川づくりも屋根に降った雨水が下水道直結で海に流れず、多くの水が川に流れなければ多自然にならない。雨水を貯めて都市の緑作りに活用することに、専門家の先生方も共感してくれました。イギリス生まれの雨水タンク“エリザバス”は名前もデザインもグットと誉めてくれました。

（冷や汗がたかさんたまった NPO南畑ダム貯水する会
角銅久美子）

（事務局より）

「アメリットステーション」日本はもとより、世界規模で広がりがつありますね。



福岡市の広報テレビで「緑のコーディネーター制度」！！ が紹介されます。（お知らせ）

【緑あふれるまちづくり】をテーマに、緑化助成事業や市民団体の活動紹介の撮影が10月3日に行われました。そのなかで「緑のコーディネーター制度」の紹介がありました。九州がんセンターで活動されている「花の仲間たち」の代表・山崎博子さんのインタビューを始め、花壇での作業風景が放送されます。是非ご覧ください。

放送日：10月19日（金）午前11時15分～11時25分
テレビ西日本『コミュ！ふくおか』



インタビューを受ける山崎さん

グリップキャンペーン「花のふれあい広場」 （お知らせ）

9月号でお知らせしていましたが、「花のふれあい広場」での緑のコーディネーターによる「緑の教室」が下記のとおり開催されます。福岡市緑化基金に募金していただいた方には、花の苗プレゼントもあります。是非お出かけください。グリップもやってきますよ！

日時：10月24日（水）
11:00～18:00
会場：三越ライオン広場



【緑の教室】

「こけ玉教室」

開始時間 11:30～12:00 15:00～15:30
担当：松永加代子さん・山崎博子さん

「押し花教室」

開始時間 13:00～13:30 16:00～16:30
担当：泰松雅子さん

「テーブルガーデン教室」

開始時間 14:00～14:30 17:00～17:30
担当：鈴木國夫さん

秋の交流観月会を行いました！

9月26日（水）
「片江夫婦桜の丘」
で観月会が行われました。福岡大学和太鼓サークル「鼓舞猿」の勇壮な和太鼓の演奏が始まると同時に、大きな月が出て感動的でした。名月を
鼓舞猿の和太鼓演奏
めで、秋の涼しい風を感じながら、緑のコーディネーター・福大生を交えての風流な夜でした。



緑のコーディネーターの再認定 について （お知らせ）

緑のコーディネーターの再認定基準について、別紙のとおりお知らせします。詳しくは別紙（メールの方は添付ファイル・郵送の方は同封の文書）をご覧ください。今回の対象は18年度認定の方です。多くの方に引き続きコーディネーターとしてご活躍していただきたいと考えておりますので、申請時期になりましたら、積極的に更新申請をしていただきますようお願いいたします。

メールアドレス登録について（ご案内）

毎月発行しています「グリーンノート」を始め連絡用として、電子メールアドレスに現在45名の方が登録されています。細かな連絡が出来ますので、アドレスをお持ちの方は登録をお願いします。下記アドレスまで送信してください。（携帯電話のメールアドレスは対象外です）
メールアドレス：anju.t@mori-midori.com